

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>						
記入年月日	平成19年4月5日		記入者		連絡先	3143
平成18年度部名	都市部		課名	都市交通計画課	課長名	石川敏美
平成19年度部名	まちづくり計画部		課名	小田急多摩線・新交通推進課	課長名	能勢豊
事務事業名	新しい交通システム検討事業					
予算上の事務事業名	新しい交通システム検討事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	33120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします					
基本施策名	第1節 利便性の高い公共交通網の確立					
施策名	第2施策 利便性の高い公共交通網の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	総合都市交通計画			都市マスタープランの交通に関する部門別計画で「道路計画」「公共交通計画」「TDM基本計画」から構成された交通マスタープランである。		
計画年次	13	年度～	32			
4 事業形態の区分	調査・研究			5 事業開始年度	平成元年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
市の核である中心市街地と拠点間を結ぶ交通軸の形成、高齢者などのモビリティ確保、環境負荷の軽減などの社会的要請への対応が必要であることから、新しい交通システムの導入実現化に向けた取り組みを進めるもの。				市民全般		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
平成17年度調査結果を踏まえ、庁内検討部会などで、リスクマネジメントと早期導入の視点にたった段階的な整備方法の検討を行った。						
1) 導入空間となる先行的な道路整備手法、都市計画決定の考え方						
2) 沿道との一体的なまちづくり方法の検討						
3) まちづくりと一体的な道路整備手法や運行システムの手法、建設財源の確保方策等の検討						
4) アクションプログラム作成						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
国土交通省の諮問機関である「社会資本整備審議会」及び「交通政策審議会」では、人口減少や高齢社会の進展、地球環境等への負荷軽減などに対応するため、公共交通の役割は重要と提言している。						
このような状況の中、国土交通省では平成19年度からLRTやBRT等の新しい交通システムの補助制度を拡充し、路面公共交通の導入に向け積極的な支援が始められている。						
8 事業費の推移 <span style="float:right">[単位:千円]</span>						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	1,470	12,000	2,972	14,500	103,000	
一般財源	1,470	12,000	2,972	14,500	103,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	807	1,610	1,610	1,610	1,610	
事業コスト合計	2,277	13,610	4,582	16,110	104,610	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	新しい交通システム導入検討事業			対象名称 と単位	調査件数(件)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	2,277	13,610	4,582	16,110	104,610	
対象数	1	1	1	1	1	
単位あたり経費(円)	2,277,000	13,610,000	4,582,000	16,110,000	104,610,000	
前年度比		5.98	0.34	3.52	6.49	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	専門家会議及び部会の開催回数（回）	指標式と指標の説明	開催回数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	9.0	12.0		
目標	1.0	9.0	12.0	12.0	10.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	課題検討進捗率	指標式と指標の説明	（主な検討済み数÷専門家会議等における主な課題数）×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	89.2	92.6		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	100.0	89.2	92.6		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		本市の骨格となる交通軸の形成や進展する高齢社会、環境負荷軽減等の新たな社会環境への対応、更には、今後の政令指定都市を見据えた都市力の強化を図る上からも、新しい交通システムは必要不可欠なものと認識している。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
リスクマネジメントと早期導入の視点に立ち段階的な整備方法により導入の実現化を目指す。			新しい交通システムの導入空間となる先行的な道路整備、沿道まちづくりと一体的な取り組み、事業採算性、市民合意形成など。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		県等関係機関との調整を図り、市民の合意を得て新しい交通システムの導入に向けて取り組む。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			